

小学校低学年向き

★：シリーズあり ☀：大型絵本あり

「おこだでませんように」



請求記号：アカ
季節：七夕

作／くすのきしげのい
絵／石井聖岳
小学館 2008年



学校でも家でも怒られてばかりのぼく。本当は「ええ子やねえ」って言ってもらいたい。だから、七夕の短冊に「おこだでませんように」って書いたんだ。それを見た先生やお母さんは・・・。

大人がはっとさせられる絵本。大人が子どもに読んであげることで、お話の持つメッセージがより子どもたちに伝わる。

「キャベツくん」



請求記号：アカ

文・絵／長新太
文研出版 1980年



キャベツくんは、ブタヤマさんに会いました。お腹がすいているブタヤマさん。キャベツくんを食べちゃうぞ、なんて言いますが、「ぼくを食べるとキャベツになるよ」とキャベツくん。じゃあ、ヘビがキャベツくんを食べたら？タヌキが食べたら？

ページをめくると、キャベツになっているヘビやタヌキの姿に「フキャ！」と、フタヤマさんと一緒に驚いてください。

「あのときすきになったよ」

請求記号：アカ

さく／薫くみこ
え／飯野和好
教育画劇 1998年



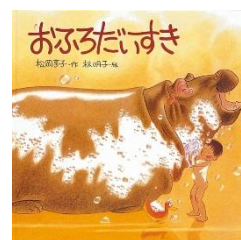
1年2組のわたしの席の後ろには「しっこさん」がいる。おしっこもらしてばかりいるから「しっこさん」。はじめは、けんかばかりだったけど、一緒に笑って、一緒に泣いていたら、少しずつ仲良しになっていくわたしとしっこさん。

二人の何気ないやりとりが生き生きと描かれ、子どもたちが共感できる内容。1年生には、ぜひ読んであげたい。

「おふろだいすき」

請求記号：アカ

作／松岡享子
絵／林明子
福音館書店 1982年



ぼく、おふろ大好き。今日もプッカとおふろに入っていたら、お風呂の中から、カメやペンギン、オットセイ、カバにクジラまで現れて・・・。

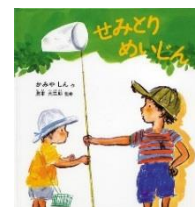
大型の絵本なので、安定して持てるようにしましょう。1ページの文章量が多いので、子どもたちが集中できる環境で読んであげてください。4～5歳くらいの子どもの向き。

「せみとりめいじん」

請求記号：アカ・486

季節：夏

作／かみやしん
監修／奥本大三郎
福音館書店 2001年



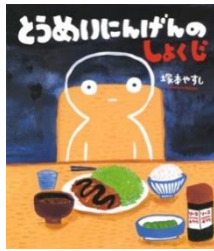
てっちゃんは、せみ採り名人のごんちゃんから、せみの採り方を教えてもらいます。まずは、せみ採り網を作るところから。どんな木にせみがいて、どうやったら上手に採れるのかな？

最後のせみの鳴き声のところも読んであげてください。子どもたちと一緒に鳴き声を真似しても楽しいでしょう。

「とうめいにんげんのしょくじ」

請求記号：アカ

作／塚本やすし
ポプラ社 2015年



ぼくの隣で、透明人間がトンカツとキャベツとお味噌汁を食べている。どうやら透明人間はぼくにしか見えないみたい。透明人間が食べたものは透明になるわけじゃないから、お腹の中が丸見えで・・・

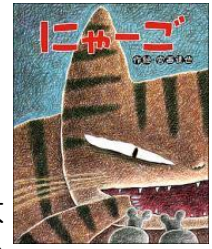
透明人間が身近にいたら？ご飯を食べたら？子どもの想像力を育ててくれるお話。

「にゃーご」



請求記号：アカ

作・絵／宮西達也
鈴木出版 1997年



3匹の子ねずみの前に、「にゃーご」と現れたのは、大きな大きなねこ。子ねずみたちは、ねこを怖がって逃げるかと思いきや「一緒に桃を取りに行かない？」とねこを誘います。

純粋な野ねずみたちの反応に戸惑いながら、優しい一面を見せてくれるねこのたま。子ねずみとたまとのやりとを楽しんで読みましょう。

「はのはのはなし」

請求記号：アカ

文／中西翠
絵／山本孝
アリス館 2014年



「歯が痛い！」こうたが、口の中をよくよく見てみると、歯に小さな葉っぱが生えています。もしかしたら、おいしい実がなるかもしれない、と葉っぱを育て始めて・・・

葉っぱの生えた歯が抜けてしまい、庭に落下。すると庭に、歯の形をしたおいしい実がなる。意外性たっぷりの展開が子どもを惹きつける。

「ひゃくえんだま」

請求記号：アカ

作／ねじめ正一
絵／荒井良二
鈴木出版 1994年



100円玉をもらって、嬉しくてぎゅっと握ったまま眠ったら、手のひらにくっついちゃった。やっと取れたと思ったら、手のひらから100円玉がどんどんわいてきて、部屋中100円玉でいっぱい！

100円玉をもらう絵が描かれたタイトルページから、お話は始まっています。2015年に新装版が出版されました。

「まあちゃんのながいかみ」



請求記号：アカ

さく／たかどのほうこ
福音館書店 1995年



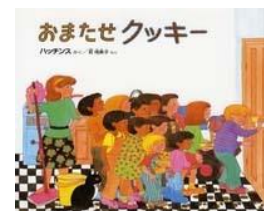
おかっぱのまあちゃん。髪を伸ばすみたいですよ。どれくらいって？おさげをたらしで魚を釣ったり、髪の毛に家中の洗濯物が干せるくらいですって！

まあちゃんの豊かな想像がそのまま見事に描かれている。ページをめくったら、しっかり絵を見せる時間を作しましょう。

「おまたせクッキー」

請求記号：ミドリ

さく／パット＝ハッチンス
やく／乾侑美子
偕成社 1987年



お母さんがクッキーを12個焼いてくれました。2人で分けっこして6個ずつ。そこへ「ピンポン」と、次々と友達がやってきて・・・

「ピンポン」とドアベルが鳴るたびに、次はどうかなるのかわくわくさせてくれる。最後に、おばあちゃんがクッキーを持って来てくれるシーンでは、誰もが12人の子どもたちと同じようにほっと胸をなでおろす。

「ペレのあたらしいふく」

請求記号：ミドリ

さく・え／エルサ・ベスコフ
やく／おのでらゆいこ
福音館書店 1976年



ペレは羊を飼っています。羊の毛を刈って、新しい服を作ることにしました。おばあさんに毛を紡いでもらい、お母さんに布を織ってもらいます。もちろん、そのかわりにペレはお手伝いをします。

新しい服が1着出来上がるまでを丁寧に描くことで、人々の暮しの温かさが伝わってくる。子どもだけでは手に取りにくい絵本こそ、読み聞かせをして大人が手渡したい。

「かえるをのんだととさん」

請求記号：チャ

再話／日野十成
絵／斎藤隆夫
福音館書店 2008年



お腹が痛くなったととさん。お寺の和尚さんに相談すると、かえるを飲むと治るといふ。かえるを飲んで腹痛は治ったけれど、腹の中にかえるがいるのは気持ち悪い。和尚さんに相談すると、次はへびを飲むといいといふ。次は雉を、獺師を、ついには鬼まで飲んで・・・。

荒唐無稽で愉快な昔話。テンポ良く、あっけらかんと読むとおかしみができる。山へと帰る鬼が描かれた裏表紙を最後にきちんと見せましょう。

「じゅげむ」

★

請求記号：チャ

作／川端誠
クレヨンハウス 1998年



生まれた子にめでたい名前をいただこうと、和尚さんの所へ行きます。いい名前をたくさん教えてもらいますが、どれかひとつに決められない。全部を名前にすることにしますが、とっても長い名前になってしまい・・・

有名な落語「じゅげむ」の絵本版。登場人物の会話で話が進んでいくので、話し手が変わる時に少し間を置くとよい。無理に声色を変える必要はありません。

「パンのかけらとちいさなあくま」

請求記号：チャ

再話／内田莉沙子
画／堀内誠一
福音館書店 1992年



貧しいきこりからパンを盗んだ小さな悪魔。「なんてやつだ！お詫びとして、きこりのために働いてこい」と大きな悪魔に叱られます。小さな悪魔は、きこりのために、沼を麦畑にし、いじわるな地主に取られてしまった麦を取り戻し、大活躍！

小さな悪魔が知恵と力で地主をこらしめる場面は爽快。起承転結がはっきりとしているので、お話を聞くこと、読むことが苦手な子も楽しめる。

「パパ、お月さまとって！」

☀

請求記号：ギン

さく／エリック＝カール
やく／もいひさし
偕成社 1986年



モニカは、お月さまと遊びたくて、パパにお願いしました。「パパ、お月さまとって！」そこでパパは、長い長いはしごを持って来て、高い高い山に登って、お月さまをとってきてくれました。

長いはしご、高い山、大きな月を表現するために、縦横にページが伸びていくしかけ絵本。文章は少ないので、ゆったり読みながら、あわてずにページをめくってください。

「ふゆめがっしょうだん」

請求記号：471

季節：冬

写真／富成忠夫・茂木透
文／長新太
福音館書店 1990年



冬の木の芽は動物や人間の顔のよう。いろんな表情をしています。

短い詩のような言葉と、冬芽の表情がマッチした写真絵本。短い文章をゆっくりと読み、冬芽の表情を見せてあげてください。読み聞かせに慣れてきたら、ぜひ挑戦してほしい1冊。

「はるとあき」

請求記号：アカ

作／斉藤倫
作／うきまる
絵／吉田尚令
小学館 2019年



「ようし あきがくるまでがんばるぞ」。ある日、なつの言葉を聞いてはるは思いました。(そういえばわたしは あきにあったことがない)。はるは、あきに手紙を書くことにしました。それから、はるとあきの心温まる文通が始まります。

柔らかい絵で描かれる季節の美しさに、はるとあきの書く手紙の温かさが見事に調和して、読むと心がいやされる絵本です。

「ちいさなメリーゴーランド」

請求記号：ミドリ

作／マーシャ・フラウン
訳／こみやゆう
瑞雲舎 2015年



アンソニーは退屈でした。忙しい家族の邪魔はできないし、友達みんな別のことをして遊んでいます。仕方なく一人でいたアンソニーでしたが、外からにぎやかな音楽が聞こえてきました。メリーゴーランドがやってきたのです！

派手さはなく淡々とした物語なので、聞き手の集中力を上げるために読み手も淡々と読んでみましょう。

「チェックポ」

請求記号：ミドリ

ぶん／イ・チュニ
え／キム・ドンソン
やく／おおたけきよみ
福音館書店 2019年



小学生のオギは、クラスメイトのダヒが使う新品の赤いかばんがうらやましくて仕方ありません。ダヒもいやみったらしく、何度もオギに自慢してきます。怒ったオギはとうとうダヒとケンカになり・・・。

昔の貧しい韓国の暮らしがありありと描かれていると同時に、そこで暮らすオギの新しいモノをうらやむ気持ちがよく伝わってきます。他国の文化にも触れられる良い絵本です。

「きをつけて、ブルーノ！」

請求記号：ミドリ

文／ホセ・カルロス・アンドレス
絵／ホセ・フラゴソ
訳／青山南
光村教育図書 2022年



心配性のパパとママは、幼いブルーノが心配で心配でなりません。お出かけする時は、何枚も服をブルーノに着せたり、公園のベンチやすべり台はモップで磨いて布団をしいたり。それに対しブルーノは「ほかのこみたいにあそばせてよ！」と叫びます。

子どもが心配で心配で仕方がない親と、それに振り回される子どもをユーモラスに描いた絵本。

「よるのあいだに・・・」

請求記号：アカ

文／ポリー・フェイバー
絵／ハリエット・ホフテイ
訳／中井はるの
BL出版 2022年



子どもたちが眠る夜の間に、働く大人たちがいます。それは次の朝のために大切なこと。ビルの掃除や、パン屋に小麦粉を届けてくれるトラック運転手。あまり知られていない、夜の中を見てくださいか？

夜に働く人たちを紹介するお仕事絵本。夜の仕事が、朝にどうつながっているのかがテーマです。子どもたちにも、こんな仕事があると知ってもらえるチャンスです。

「さるのせんせいとへびのかんごぶさん」

請求記号：アカ

ぶん／穂高順也
え／荒井良二
ビルケン出版 1999年



どうぶつむらに新しく病院ができました。診察してくれるのは、さるのおいしゃさんと、へびのかんごぶさんです。病院にやってくるいろいろな動物たちを、2人は協力しながらあの手この手で治していきます。

病気の治し方がとてもユーモラス。へびのかんごぶさんが大活躍します。読んだら笑いが止まらない、小学生におすすめの絵本です。